

ジョルダン 中間ビジネスレポート

2021.10.1 ▶▶ 2022.3.31



JORUDAN

証券コード：3710

トップメッセージ

代表取締役社長 佐藤 俊和

移動ニーズの本格回復を見据え、MaaS事業の本格展開を加速 環境変化を捉えた新たなビジネスモデルの構築を積極推進

当第2四半期の連結業績は、売上高では乗換案内事業セグメントでの減少、その他セグメントでの増加等により前年同四半期並みとなりました。利益面については、営業利益段階で実証実験などの今後の事業展開を見据えた費用の増加、経常利益段階では逆に実証実験に伴う補助金などの助成金収入及び為替差益の増加などがあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べ微増となっています。

「乗換案内」の各種インターネットサービスは、月間検索回数1億9,200万回、有料会員数と取り放題サービス等の月間利用者数を合わせて25.7万人と、コロナ禍の中でも一定の貢献ができています。先行き不透明感はぬぐえないものの検索回数は改善傾向が続いており、さらなる回復も期待できると考えています。

MaaS事業については、将来を見据えたグループ事業の中心と位置づけ引き続き取り組みを加速しています。モバイルチケットでは、2019年から英国Masabi社のモバイルチケットサービス「Justride」の技術を活用して普及に注力してきました。コロナ禍などにより想定以上に時間がかかっていますが、販売数は着実に増加しています。実際に大阪モノレールで2券種での実証実験を行い、その後に通年販売を開始したほか、千葉・小湊鐵道でもモバイルチケットを販売開始するなど、自治体や公共交通機関での実証実験・本格導入が進んでおり、今後インバウンド需要が戻ってきたときに大きな力になると感じています。同時に、公共交通の時刻表・位置情報を配信する公共交通データHUBシステムも掲載交通機関が470社・自治体となっており、全国の公共交通データの標準化、一元化に向け今後も取り組みを進めていきます。

さらに子会社のJ MaaSによるSaaS型モデルの展開として、京浜急行電鉄が運営する観光型MaaS「三浦COCOON」に向け、モバイルチケット機能などの提供を開始しました。2021年10月から2022年1月まで実証実験を行い、2022年4月より本格販売を開始しました。また静岡県熱海市、沖縄県宮古島市において、「あいのり」タクシーの実証実験を実施しました。「あいのり」タクシーは地方の住民や観光客の足となるなど、地方や観光地の活性化を促す新たなソリューションとして期待が高まっており、当社としても今後の普及に向け積極的な関与を考えています。

アフターコロナのニューノーマル定着、働き方改革の進展など環境変化に対応した新しい法人向けビジネスの取り組みも加速しています。福島県白河市に顔認証システムなど最新のICT技術を駆使した新拠点を開設し、この自社事例をモデルケースとしたサテライトオフィスの新たなソリューションの全国展開を開始することとしました。併せて当社のまちづくりクラウドサービス「JorudanStyle3.1」を含むICT技術を活用し、同地区及び福島県におけるMaaSビジネス拡大、スマートシティ構築に向けた取り組みも検討しています。

その他、出版事業では、従来の政治・経済中心からICTや当社グループ事業のPRを軸とする路線へと転換し、『量子コンピュータを理解するための量子力学「超」入門』を発売しました。今後も積極的に、ICTや当社グループのプロジェクト紹介に関する書籍の出版を行っていきたいと考えています。

なお、通期については、第2四半期の傾向を踏まえ売上高は前期並みの26億円、最終利益は前期比23.6%増の60百万円を計画しています。

🔥 当中間期のトピックス

福島県白河市に最新のICT技術を駆使したサテライトオフィスを開設

福島県白河市が開設したサテライトオフィス・ワーキングスペース「ラ・クリエーションプラス」内に新たな拠点を開設しました。当社では、コロナ禍となり、従業員の感染防止、安心・安全の確保の観点から、新宿区にある本社をベースに各地へ積極的にサテライトオフィスを構え、ビジネス環境を整備してきました。こうした中で、首都圏へのアクセスが容易な白河市にも新たな拠点を開設し、クラウドベースのスマート電話や顔認証システムなど最新のICT技術を駆使したサテライトオフィスとすることで、本社との連携によるビジネス展開を図るとともに、アフターコロナに対応した次世代型オフィスソリューションビジネスを展開していきます。



「第7回 鉄道技術展」に出展

2021年11月24日～26日まで幕張メッセで開催された「第7回 鉄道技術展」に出展しました。「鉄道技術展」は、鉄道インフラから設備、システム、旅客サービスに至るまで、鉄道にまつわるあらゆる分野の技術を横断的に展示する見本市で、2010年から開催され今回で7回目を迎えました。当社ブースでは、「乗換案内」「マルチモーダル」「モバイルチケット」を主要テーマとし、今や移動に欠かせないツールである「乗換案内」を軸にしたMaaS事業の最前線を体験できる展示を行い、多くの方にご来場いただきました。



熱海市で「あいのり」タクシーを活用した実証事業を実施

観光庁の令和2年度第3次補正予算事業である事業者連携型既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業「熱海観光消費促進プラットフォーム構築実証事業」として、「あいのり」タクシー活用次世代観光・地域交通プラットフォーム構築実証事業を実施しました。これは、便利で低コストな「乗換案内」連動のシェアサービス実現を目指したもので、熱海市の支援の下、熱海市商工会、熱海市観光協会、熱海市温泉ホテル組合、静岡県タクシー協会熱海支部、熱海高校、沼津高等専門学校、株式会社エクトラとともに、「熱海次世代観光・地域交通プラットフォーム協議会」を設立して行いました。



西新宿エリアでスマートシティサービスの実証実験を実施

株式会社ジョルテ、日本オラクル株式会社、株式会社構造計画研究所、KAKU CHO株式会社の4社とともに、西新宿エリアで2022年1月15日～3月31日の期間に実証実験を実施しました。これは、東京都の「令和3年度西新宿エリアにおける5Gを含む先端技術を活用したスマートシティサービス実証事業」に提案した「都市と繋がる、人と街とのコミュニケーション活性化事業」が採択されたものです。実証実験では、「乗換案内」アプリ内で、イベントや店舗の情報をカレンダー化して提供、飲食店の混雑状況のリアルタイム配信、テイクアウトの事前注文・決済、AR道標、ビジネスマッチングといったサービスを提供し、効果検証を行いました。



四半期連結財務諸表ダイジェスト

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 2021年9月30日	当第2四半期 2022年3月31日
資産の部		
流動資産	4,366,197	4,251,373
固定資産	1,249,522	1,392,174
有形固定資産	510,868	506,389
無形固定資産	148,276	151,407
投資その他の資産	590,377	734,376
資産合計	5,615,720	5,643,547
負債の部		
流動負債	648,367	679,370
固定負債	32,487	27,445
負債合計	680,854	706,815
純資産の部		
純資産合計	4,934,866	4,936,732
負債・純資産合計	5,615,720	5,643,547

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

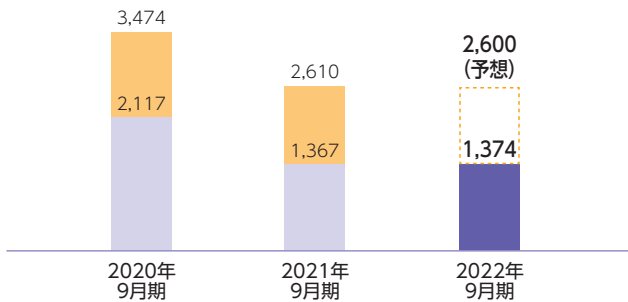
(単位：千円)

科目	前第2四半期累計 2020年10月1日から 2021年3月31日まで	当第2四半期累計 2021年10月1日から 2022年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	84,165	97,649
投資活動による キャッシュ・フロー	△108,344	△266,361
財務活動による キャッシュ・フロー	△29,840	△65,622
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,594,698	3,418,443

売上高

(単位：百万円)

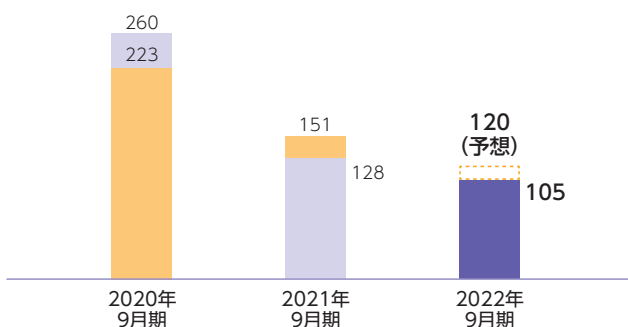
■ 第2四半期（累計） ■ 通期



経常利益

(単位：百万円)

■ 第2四半期（累計） ■ 通期



四半期連結損益計算書

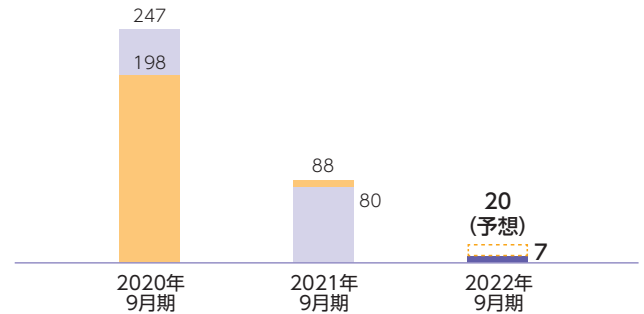
(単位：千円)

科目	前第2四半期累計 2020年10月1日から 2021年3月31日まで	当第2四半期累計 2021年10月1日から 2022年3月31日まで
売上高	1,367,139	1,374,947
売上原価	661,666	712,149
売上総利益	705,473	662,798
販売費及び一般管理費	624,567	654,819
営業利益	80,906	7,978
営業外収益	47,526	102,518
営業外費用	431	4,503
経常利益	128,001	105,993
特別損失	31,956	17,073
税金等調整前四半期純利益	96,045	88,920
法人税等合計	51,360	41,868
四半期純利益	44,684	47,051
非支配株主に帰属する 四半期純損失（△）	△1,749	△3,181
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46,434	50,233

営業利益

(単位：百万円)

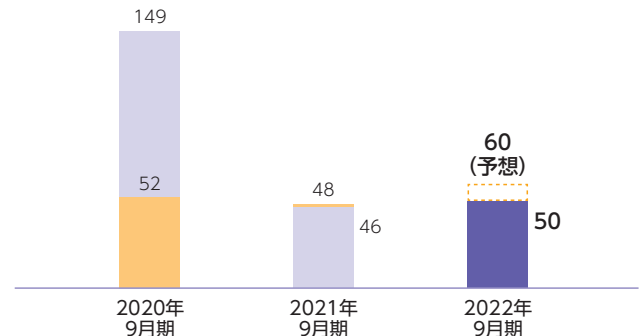
■ 第2四半期（累計） ■ 通期



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

(単位：百万円)

■ 第2四半期（累計） ■ 通期



(注) 2022年9月期より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2021年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

スマートフォン向け「乗換案内」のご紹介



「jordダン」
(スマートフォンサイト)
<https://www.jorudan.co.jp/>



無料



iPhone版「乗換案内」「乗換案内Plus」 「行き案内 - 乗換案内シリーズ」

App Storeにて
App > ナビゲーション >
「乗換案内」「乗換案内Plus」「行き案内 - 乗換案内シリーズ」

無料

90日間
860円
(税込)



Android版「乗換案内」「乗換案内Plus」 「行き案内 - 乗換案内シリーズ」

Google Playにて
アプリケーション > 地図&ナビ >
無料アプリケーション > 「乗換案内」
「行き案内 - 乗換案内シリーズ」
有料アプリケーション > 「乗換案内Plus」

無料

90日間
840円
(税込)

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号 ジョルダン株式会社
(Jorudan Co.,Ltd.)
本社所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10
設立 1979年12月
資本金 2億7,737万5,000円
従業員数 連結201名、単体154名

主要な子会社 (2022年3月31日現在)

コンパスティビー株式会社
事業内容: 広告代理業

ゼストプロ株式会社
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

イーツアー株式会社
事業内容: インターネットによる旅行商品の販売

株式会社悟空出版
事業内容: 出版業

株式会社ジェイフロンティア
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

J MaaS株式会社
事業内容: ICTを活用した移動手段の手配・販売・提供サービス

若尔丹(上海)軟件開發有限公司
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

杰昱(上海)信息技術有限公司
事業内容: ハードウェアの販売・保守

株主優待のご案内 乗換案内PREMIUM(株主優待版)

対象になる株主様は?

・9月末と3月末に当社株式100株以上お持ちの方

いつ届くの? いつから使えるの?

・12月末お届け (翌年1月1日~6月30日の間有効)
・6月末お届け (7月1日~12月31日の間有効)

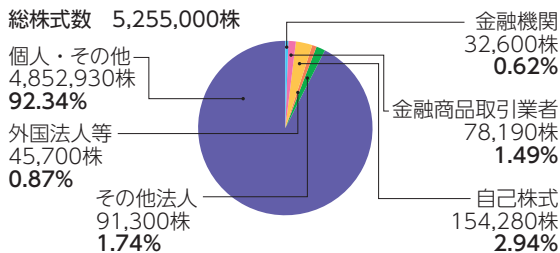
どんな機能が使えるの?

・PCで無料版にはない多彩な経路検索
・スマートフォン向け有料サービスも利用可能

株式状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 19,000,000株
発行済株式総数…………… 5,255,000株
株主数…………… 4,480名

所有者別株式分布状況 (2022年3月31日現在)



株主メモ

- 事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
- 定時株主総会 毎年12月
- 基準日 毎年9月30日
- 配当金受領株主確定日 9月30日及び中間配当を実施する場合は3月31日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.jorudan.co.jp/ir/>
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部